

会 見 年 月 日	令和7年3月21日（金曜日）		
担 当 課	教育委員会文化財課市史編さん担当	（担当者名：小野）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6848	（内線： ）	FAX：0791-43-6848

『赤穂市史史料集』第11集の発刊について

1. 趣 旨

平成26年度より刊行している『赤穂市史史料集』シリーズについて、今回第11集を発刊する。

2. 内 容

『赤穂市史史料集』シリーズは、『赤穂市史』や『忠臣蔵』の史料編に紙幅の都合などで収録できなかった史料を幅広く取り上げて活字化し、未永く後世に伝え残していくため、平成26年度より刊行を行っているものである。

今回発刊する第11集は、現在赤穂市立民俗資料館となっている赤穂塩務局の建築に関する資料を『大蔵省臨時建築部年報』を中心に収録する。付録として、赤穂塩務局の沿革や庁舎建築の解説、現況写真、図面を収めている。

令和7年3月25日（火）より販売を開始する。

※冊子納品令和7年3月24日（月）、冊子配布3月25日（火）の予定

『赤穂市史史料集』第11集の発刊

赤穂市の修史事業は昭和52年に始まり、昭和56年9月の『赤穂市史』第1巻発刊を皮切りに、平成26年1月の『忠臣蔵』第7巻に至るまで、37年の長きにわたり、『赤穂市史』全7巻、『忠臣蔵』全7巻を編集・発刊して完結した。

『赤穂市史』『忠臣蔵』の編集にあたっては、国内外の多くの史料所蔵者の理解と協力を得て、膨大な史料の情報を集積することができた。しかしながら、これら赤穂の歴史を物語る史料、赤穂事件や忠臣蔵に関する史料の収録は、限りある紙幅の中では、やむなく割愛したり、部分的な収録に留めざるをえなかったものも少なくない。

そこで、『市史』や『忠臣蔵』の史料編に収録できなかつた貴重な史料を幅広く取り上げ、末永く後世に伝え残していくため、平成26年度より『赤穂市史史料集』シリーズの刊行を開始した。本シリーズの刊行により、郷土赤穂の歴史や赤穂事件・忠臣蔵の研究の進展に寄与することを企図するものである。

1. 名 称 『赤穂市史史料集』第11集（赤穂塩務局建築関係資料）
2. 本の体裁 A5判 264ページ
3. 発行部数 500部（内販売分 350部）
4. 内 容 現在赤穂市立民俗資料館となっている赤穂塩務局の建築に関する資料を『大蔵省臨時建築部年報』を中心に収録した。付録として、赤穂塩務局の沿革や庁舎建築の解説、現況写真、図面を収めた。
5. 販売価格 700円（送料別途）
6. 販売場所 赤穂市教育委員会 市史編さん室
赤穂市加里屋中洲3-56 TEL/FAX. 0791-43-6848
7. 販売開始 令和7年3月25日（火）

（参考）

『史料集』既刊：各在庫あり

- | | | | |
|--------------------|------------|----|------------|
| ・第1集「赤穂藩森家諸役姓名録」 | A5判 162ページ | 1冊 | 250円（送料別途） |
| ・第2集「赤穂藩森家分限帳集」 | A5判 82ページ | 1冊 | 200円（送料別途） |
| ・第3集「年中用事控（Ⅰ）」 | A5判 228ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第4集「年中用事控（Ⅱ）」 | A5判 300ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第5集「年中用事控（Ⅲ）」 | A5判 318ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |
| ・第6集「年中用事控（Ⅳ）」 | A5判 330ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第7集「年中用事控（Ⅴ）」 | A5判 428ページ | 1冊 | 450円（送料別途） |
| ・第8集「年中用事控（Ⅵ）」 | A5判 342ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |
| ・第9集「明治二十五年赤穂郡洪水史」 | A5判 280ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |
| ・第10集「赤穂藩浅野家分限帳集」 | A5判 200ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |

今後収録予定の史料

- | | | |
|--------------|-----------|----------------|
| ・尋常高等小学校郷土調査 | ・真殿村検地帳 | ・誠忠義臣略伝＋忠臣銘々画伝 |
| ・義士夜討高名咄 | ・御廻状御用書留帳 | ・綿屋文書（義士書状集） |
| ・赤城風雅 | ・赤穂藩御触書集成 | など |

『赤穂市史史料集』第11集の主な内容

○巻頭写真

- ・赤穂塩務局新営工事や庁舎建物内外の古写真
- ・塩務局内塩倉への塩検査・搬入の古写真 など

○『大蔵省臨時建築部年報』第一・第二

『大蔵省臨時建築部年報』は、大蔵省関係官庁の営繕にかかる事務事業成果を記載したもので、塩専売に関する庁舎等の建設については、明治39年度分が『年報』第一に、40年度分が『年報』第二第一編に、41年度分が『年報』第二第二編に、43年度分が『年報』第四にそれぞれ収録されている。

本書では、塩務局本建築の建築標準に関する部分、赤穂塩務局とその管轄出張所等の建築に関する部分を収録する観点から、『年報』第一および第二より関係部分を抄出して収めた。詳細な建築仕様が記載されており、今後の赤穂市立民俗資料館整備の際の基礎資料となる。

○付録1 赤穂塩務局等建築関係資料

「赤穂塩務局新営工事写真裏書」「赤穂塩務局新浜出張所敷地埋立関係資料」「赤穂塩務局新浜出張所敷地埋立等工事仕様書」の3点を収録した。

○付録2 大蔵省赤穂塩務局（日本専売公社赤穂支局）の沿革

『大蔵省臨時建築部年報』などを基に、明治38年（1905）1月の塩専売法公布以後、赤穂塩務局とその管轄出張所等の建築、赤穂塩務局のその後の変遷を年表形式でまとめた。

○解説 赤穂塩務局庁舎の建築

大蔵省赤穂塩務局の建築関係資料、塩の専売制施行と監督官庁の設置、仮庁舎の建築、塩務局・所の新営工事、赤穂塩務局の設置と局内構成、赤穂塩務局の建物配置、赤穂塩務局跡の現在の各項目について解説している。

○付録3 赤穂市立民俗資料館（日本専売公社赤穂支局）現況写真

建築当初の面影を濃厚に残す赤穂市立民俗資料館の建物（旧庁舎・旧文書庫・旧塩倉）の意匠・構造の特徴的な部分を写真で紹介する。あわせて、元新浜専売官吏派出所であった旧御崎保育所、現姫路市網干区新在家に所在する旧赤穂塩務局網干出張所（現東京電機工業株式会社）の建物写真も収録した。

○付図1 日本専売公社赤穂支局配置図

昭和50年代中ごろまでの日本専売公社赤穂支局の建物配置を示す。

○付図2 赤穂塩務局庁舎1階平面図

建築当初と推定される赤穂塩務局庁舎1階の平面図。付図3と比較すると、一部間取りの変更が行われていることがわかる。

○付図3 赤穂市立民俗資料館平面図・立面図

昭和57年度に行われた市立民俗資料館としての整備工事図面による。